

300を超える事業者・団体等の御賛同をいただいた
脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました！！

CARBON ZERO CHALLENGE

KAWASAKI CITY



気候変動の影響は今まさに私たちの生活に大きな影響を与えています。本市では、2050年の脱炭素社会の実現を目指すため、令和2年11月、脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定しました。脱炭素戦略の策定は、政令指定都市の中では横浜市に次いで**2番目**です。

日本の産業を牽引している本市は、政令指定都市の中で**最も多くの温室効果ガスを排出**しておりますが、こうした特徴を持つ本市が、脱炭素化に向けた具体的な戦略の策定に当たり、戦略の趣旨について賛同者を募ったところ、**304**の事業者・団体等の皆様から**御賛同**をいただきました。

事業者・団体から御賛同いただきながら脱炭素化に向けた戦略を策定したのは、
地方公共団体の取組としては**日本初**であり、
今回、脱炭素戦略の巻末には賛同者の一覧を掲載しております。

1 本戦略の特徴

- 特徴1 2030年マイルストーン（中間目標地点）の設定！
- 特徴2 脱炭素モデル地区の設置！
- 特徴3 2030年までに**主要な市公共施設の使用電力を再エネ100%**！
- 特徴4 脱炭素化に取り組む企業への**新たな支援・評価手法の構築**！
- 特徴5 本戦略の巻末に、**賛同事業者一覧**を掲載！（計304者、R2.10.16時点）



2 脱炭素モデル地区の設置



- 特徴1** 溝口周辺エリアにモデル地区（脱炭素アクションみぞのくち）を本日設置！
- 特徴2** 今後、事業者等と連携した取組を集中的に実施し、市民の行動変容を促す！
- 特徴3** 記者会見当日、モデル地区エリアにも関連する賛同事業者も出席！

3 記者会見に出席した事業者【五十音順】



- (1) ENEOS株式会社**（環境安全部社会環境グループマネージャー かほた みつひこ 加幡 光彦 様）
コメント：当社は、環境負荷の低い事業を強化・拡大すると共に、環境対応型事業の強化、自社排出分のカーボンニュートラルの追求などを通じて、低炭素・循環型社会の形成に貢献します。
- (2) 川崎信用金庫**（理事長 つづみ かずや 堤 和也 様）
コメント：当金庫は自社の取組を進めるとともに、地域金融機関として、市内事業者の皆様の脱炭素に向けた取組みを金融の側面から応援してまいります。
- (3) 東急株式会社**（フューチャー・デザイン・ラボ 統括部長 みよ かずひで 御代 一秀 様）
コメント：地域の皆様と様々な形で連携を行い、低炭素・循環型社会の実現に向け、活動してまいります。
- (4) 株式会社丸井 マルイファミリー溝口**（店長 かわら みゆき 瓦 美雪 様）
コメント：丸井グループは「RE100」に加盟。溝口店の電力も再生エネルギー100%、今後はお客様にも再エネ「みんな電力」をご案内していきます。

参考 パブリックコメントの実施結果

実施期間 令和2年8月31日（月）～令和2年9月30日（水）

意見総数 75通（336件）

第4章に掲載の「一人ひとりができること」に再生可能エネルギー比率の高い電力を選択する取組を入れて欲しいといった意見や、2050年のCO₂排出量実質100%削減の表現の修正などについての御意見がありましたことから、御意見を踏まえ一部意見を反映しました。



（補足）CO₂排出実質ゼロとは
二酸化炭素などの温室効果ガス的人為的な発生源による排出量と
吸収源による除去量との間の均衡が達成されること



かわさきカーボン
ゼロチャレンジ 2050



パブリックコメント
実施結果



（問合せ先）

川崎市環境局地球環境推進室 石原
電話 044-200-2364
FAX 044-200-3921